

地域福祉 国際セミナー2012 in なんぐん

～精神科病床を0(ゼロ)にしたイタリアから学ぶ～

＜セミナー開催にあたり＞

はるかイタリアから、ダルコ先生をお迎えできることになりました。数年前、トリエステ、ペローナに続いてアレツツオにお伺いし、先生に現場を案内していただきました。イタリアで多くの出会いや気づきがありましたが、先生との出会いがなければ、個人的にはおそらく、かなりの不全感をもって帰国していたのではないかなと思ってしまう程、探し求めていたものだったのではないかと今でも感じています。このようなセミナーを、愛媛の端っこ「なんぐん」で行えることをとてもうれしく思います。

このセミナーで私たちが設定したテーマは大きく2つです。もちろん、テーマを通じて新たな出会いやつながりが生まれることを、一番の目的にしています。

ひとつめのテーマは『精神保健福祉医療のあり方』です。

世界各国ですすんできた脱施設化、地域支援の充実に、日本が乗り遅れていることは事実だと思います。病床数の問題もそうですが、地域で支えられるしくみが未熟であることは、各地で魅力的な取り組みが進んでいるとはいえ、否めないと感じています。さらに、地域住民、関係者・機関、ご本人…皆で向かっている方向性が、いまだに定まってさえないのが現状ではないでしょうか。今回は、イタリアの歴史の中で、更にそれに先んじて実践を続けられてきたダルコ先生に、ひとつひとつの支援を積み重ね、精神科病床を0(ゼロ)にしたからこそ気づいたこと、見えてきた風景をとことん語っていただき、また、そこから見据えている未来をおうかがいすることで、私たちの行く道を探りたいと思っています。目の前の制度や方法、病床数に惑わずに、しっかり、その「考え方」と「個々の実践のあり方」を学んでいければ幸いです。

もうひとつは『世界で初めての超高齢化社会、認知症の課題を日本が抱えるにあたって』ということです。

認知症の65歳以上の有病率が最大20%ほどではないかと言われはじめています。愛南町では20年後を待たずに高齢化率50%、そのころには人口の10人に1人は認知症を患っている…という現実と直面するかもしれません。介護保険をはじめ、あわただしく、暗中模索に近い状況で対策がすすめられています。現状で不足していることは重々承知していますが、全国で、入所施設や高専賃などの高齢者用の住居が次々に建設され続けています。世界各国で、精神疾患を患った方の収容施設や入院施設ができた後に脱施設化の動きが起き、地域支援が充実すると、もとの3分の1程度の施設数になってきました。また、知的障がいの方の入所施設でも、同様のことが歴史的に繰り返されてきました。『認知症でもやっぱり同じだった…』ということになるのではないかなという危惧を抱いています。地域生活支援の不足がそのまま施設の不足とされ、整備が続けられているような気がしてなりません。諸外国の精神保

健福祉医療と認知症ケアのしくみは分けられています。しかし、日本では精神保健医療と認知症ケアは切っても切り離せない状況にあります。精神保健医療福祉関係者は、認知症ケアにまで、適切に、視野と連携を拡げなければなりません。もちろん、精神疾患を患った方も高齢になります。ようやく先進的な地域や政策レベルでは連携が始まっていますが、各地の現場ではどうでしょうか？今回、NPO 法人 CLC のご協力を得て、高齢者ケアを担われている皆さんにも案内を出させていただきました。それは、イタリアで、一度“収容”してしまった精神障がい者を、地域で支える為にどんな道のりを歩んできたのかを、ぜひ、お伝えしたいからです。もちろん、入所施設は必要です。けど、地域生活の支えが不足していることで、結果として必要以上の入所施設ができてしまうと、それは多くの不幸を生み出します。50年後、世界各国の精神科病院のように、使われない大きな建物が幽霊屋敷のごとくに乱立する日本は想像したくないと思っています。セミナーを通じて、全国から集まる精神保健福祉関係者ともつながっていただき、協働し、誰もが、いつまでも地域で安心して暮らせる方向に、さらに進むことができれば幸いです。

ダルコ先生のお話をとことん、おうかがいさせていただくために、先生には90分を2本(通訳あり)、ご無理を申し上げます。

あとの交流懇親会は、昭和49年、精神障がい者の共同住居としての活動をいち早くはじめた社会復帰施設平山寮の大きな倉庫の中で行います。海の幸、山の幸満載で、お店では決して味わえないなんぐんの雰囲気をお楽しみいただき、交流を深めつつ、日ごろの生活への鋭気を養っていただければと、皆様をお待ちしております。

遠方で恐縮ですが、ぜひ、愛媛県南宇和郡(なんぐん)愛南町まで足をお運びください。

長野敏宏(NPO なんぐん市場・精神保健福祉交流促進協会)

平成24年2月

主催 : NPO法人ハート in ハートなんぐん市場、NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)、NPO 法人精神保健福祉交流促進協会

共催 : 南宇和障害者の社会参加を進める会、南宇和心の健康を考える会、なんぐん地域ケア研究会、ありんこくらぶ

後援 : 愛南町

(日 時) 平成24年4月14日(土) 13:30~17:00 (受付13:00~)

18:00ごろ~ 交流懇親会 平山寮

(場 所) 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城 3036-1 御荘文化センター 大ホール

(参加費) 1,000円(当日徴収) 懇親会(3,000円 当事者1,000円)

(申込締切) 平成24年4月6日(金)

(問い合わせ) セミナー総合事務局(御荘病院内 宮本積夏)

電話 0895-74-0111 FAX 0895-74-0113

イタリア・アレツツォの精神保健 歴史と活動～これから目指す方向性



Aldo D'arco アルド・ダルコ先生

1944 年イタリア・ジェノバ生まれ、68 歳
1969 年医学部卒業後、ジェノバで 3 年間学び
1973 年からピサで精神医学を専門とした。
1972 年からアレツツォ精神病院とアレツツォ
精神保健サービスに勤務し、ピレツラ医師と共
にアレツツォ精神保健の礎を作った。

2010 年アレツツォ精神保健センター長を定
年退職

上記勤務の傍ら、シエナ大学や看護師専門学
校等で数多く講師を務める。また国内・国際会議で議長や講師も数多く務め
た。専門書はイタリア国内外で 26 の書籍や論文がある。

<セミナー当日予定>

13:00 受付開始 (御荘文化センター)

13:30～15:00 講演「イタリア精神保健とアレツツォの歴史」

通訳：坂本 沙織

15:00～15:10 休憩

15:10～16:40 講演「アレツツォの精神保健活動とアレツツォ・イ
タリアの目指す精神保健とは」

通訳：坂本 沙織

18:00 ごろ… 交流懇親会(平山寮)

※ 皆様の宿泊場所から平山寮へは送迎をいたします！

『2012 春 リフレッシュセミナーin なんぐん』

～全国の仲間と集う～

日々、全国で地域福祉の充実に向けてさまざまな取り組みがなされています。その仲間が交流を通じて学び、エンパワメントされ、壁を破りながら前に進んでいきたいという想いを込めて『リフレッシュセミナー』と名付けられています。お互いバーンアウトせず、長く活発な活動が続けていく為のセミナーです。

ダルコ先生をお招きした国際セミナーの後の平山寮での交流懇親会では、谷中先生を交え各地の様々なお話を伺いながら楽しい交流ができるものと期待しております。

翌日には、『観光闘牛』を企画させていただきました。闘牛関係の皆さんには、社会復帰施設平山寮で、昭和50年代～平成12年、闘牛の牛を委託飼育をさせていただいてから、長く長くお世話になっています。精神障がい者の社会復帰に向けた取り組みの大きな突破口になったものです。リフレッシュセミナーの起こりとなった、第1回のセミナーでも皆さんにお楽しみいただきました。しかし、過疎高齢化による闘牛牛（飼い主）の減少などから、昨年、南宇和観光闘牛協会が解散しており、永く親しまれてきた闘牛場での最後の観光闘牛になるかもしれません。この機会に、是非、ダルコ先生をはじめ、皆さんにご覧いただき、いつかの復活を夢見た花道にできればと考えています。是非、ご協力とお楽しみいただきたいと思います。

春のなんぐんを存分にお楽しみください。よろしくお願いいたします。

平成24年2月

主催：精神保健福祉交流促進協会

平成24年4月15日(日)

10:00～11:00 観光闘牛



※ 参加申し込みについて

4/6(金)までに FAX にてお申し込み下さい。(別紙)

・宿泊先が限られておりますので、できるだけ早くの申し込みをお願いします。

※ 会場 御荘文化センター

〒798-4110 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城 3063-1 電話0895-73-1111



案内地図 (QR コード)

《アクセス》

住所: 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城 3063-1

電話番号: 0895-73-1111

最寄り駅: 宇和島(予讃線)バス 60 分 高速道路: 松山自動車道・津島高田

最寄りバス停: 御荘

○高速道路利用の場合

松山道→西予宇和 I C→津島高田 I C (終点)→R56 経由で30分→会場

※自動車専用道路が新たに開通し、所要時間が大幅に短縮されました!!

○鉄道

岡山から直通・2時間40分→松山→特急・1時間18分→宇和島

高松から特急・2時間30分→松山→特急・1時間18分→宇和島

○バス

松山から 2時間→宇和島→1時間15分→御荘

○船

大阪・神戸→9時間20分→松山

広島・呉→スーパージェット・1時間10分→松山

別府→3時間40分→松山

大分→3時間30分→松山

別府→2時間40分→八幡浜

別府→2時間55分→宇和島

地域福祉 国際セミナー2012 in なんぐん 参加申込

申込先FAX：022-727-8737

| | | | | | |
|---------|--|-----|---|-----|--|
| フリガナ | | 住所 | 〒 | | |
| 申込代表者氏名 | | | | | |
| 勤務先・施設名 | | TEL | | FAX | |

※ご希望の欄に○印をお付け下さい。

| No | フリガナ | 参加者 区分 | 性別 | 参加 | | 懇親会 | 4/14宿泊 | | | 送迎 | | 宿泊料金について (1人あたり) |
|--|----------|-----------|-----|---|------|--------|--------|-----|----|--------------|--------------|---|
| | 氏 名 | | | 4/14 | 4/15 | 4/14 | ホテル | | 民宿 | 研修会場 ⇒宿泊先 | 宿泊先⇨懇 親会場 | |
| | | | | 1,000円 | 無料 | 3,000円 | シングル | ツイン | | | | |
| 例 | アイナン タロウ | C | 男 女 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ホテルシングル |
| | 愛南 太郎 | | | | | | | | | | | 4,800円～6,500円 |
| 1 | | | 男 女 | | | | | | | | | ホテルツイン |
| | | | | | | | | | | | | 4,800円～6,500円 |
| 2 | | | 男 女 | | | | | | | | | 民宿 |
| | | | | | | | | | | | | 6,500円～7,500円 |
| 3 | | | 男 女 | | | | | | | | | 宿泊先に関してはこ ちらで割り振りをさせ ていただきます。ご了承 くださいませ。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | 男 女 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | 男 女 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| <参加者区分> 福祉関係=A 行政関係=B 教育関係=C 医療関係=D 障害者=E 家族=F その他=G | | | | <ツインをご希望の方は同室希望者名をご記入ください。その他特記事項などご記入ください> | | | | | | | | 申込書を受け付けまし たら後日参加証と宿泊 券を返送いたします。 |

※研修終了後に宿泊先まで送迎いたします。また、懇親会参加者は、宿泊先⇨懇親会場間の送迎もいたします。

※変更・取り消しの場合には、送信した申込書に加筆・修正をしてFAXしてください。

※参加者記入欄が不足の場合には、コピーのうえご使用ください。